

**公益社団法人 日本オーケストラ連盟 第 10 期
2021 年度(令和 3 年度)事業報告・決算報告書**

自 2021 年 4 月 1 日
至 2022 年 3 月 31 日

公益社団法人 日本オーケストラ連盟

公益社団法人 日本オーケストラ連盟

2021年度（令和3年度）事業報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで

2021年度（令和3年度）も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年であった。一方昨年度の全面的な公演中止から、海外からの演奏家や入場人数の制限を受けるなど新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けながらも公演は開催でき、手探りであるが少しずつポストコロナを見据えて動き始めた1年でもあった。本年度も経済的にまた音楽的にも失うものの多い日々が続いたが、自らの活動を見つめ直し、将来に向けての活動の方向性を考える重要な機会にもなっている。

1. 交響楽に関する調査研究及び資料、情報の収集

(1) 「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑 2021」を刊行した。

文化庁委託事業「令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、3,000冊刊行。音楽関連機関、専門家等に配布したほか、全国の主たる図書館、大学、公立文化施設などに配付し、併せて連盟ホームページでも公開した。

(2) 各種レポートの発行

収集した資料、情報をオケ連ニュースで公開し、オーケストラの発展に努めた。

(3) ステージスタッフ会議、ライブラリアン会議を開催した。

① ステージスタッフ会議 2021年8月12日（木）。Webによるリモート会議で実施。

・「新型コロナウイルス、これまでの対応と今後について」をテーマに行われた。

② ライブラリアン会議 2022年3月10日（木）。Webによるリモート会議で実施。

・「コロナ禍におけるライブラリアン業務の情報交換」、「代理店契約が終了された楽譜の取り扱いについて」ほかの議題について実施。

(4) 基礎資料作成の調査・検討実施

① 2020年度の加盟オーケストラの実績を調査し、コロナ禍における支援金の項目を設け、活動実績をより分かりやすくまとめた。

② 「子どものためのオーケストラ検証」プロジェクトを実施。（千葉県内1校、大阪府内2校、東京都内2校）日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、東京都交響楽団が行った音楽鑑賞教室で、アンケート調査を新たに実施した。

2. 交響楽振興のための公演及び講習会等の開催

(1) 「オーケストラの日 2022」の配信による実施

オーケストラの普及、浸透を図るため3月31日を「オーケストラの日」として、例年この日を中心にその前後で加盟するオーケストラが多彩な催しを行っているが、新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年につき、東京文化会館大ホールにおける首都圏オーケストラ合同による演奏会及びその他付随するイベントは中止とし、「オーケストラコンサートができるまで」をテーマに、演奏会の裏で活躍するライブラリアンやステージマネージャーに密着し、裏方業務をご紹介する配信イベントを東京文化会館小ホールより行った。

生配信：2022年3月31日（木）18時～

アーカイブ配信：2022年4月8日（金）～4月24日（日）

配信会場：東京文化会館小ホール

出演者：角田鋼亮（指揮者）、連盟加盟オーケストラのスタッフ

演奏出演：◆金管アンサンブル：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団メンバーによる

金管五重奏

曲目：スザート／ルネッサンス舞曲Ⅰ,Ⅴ

ロッシーニ／歌劇「ウィリアム・テル」序曲（スイス軍の行進）

◆管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

曲目：モーツァルト／交響曲第29番イ長調 K.201

地方都市では下記の13楽団が「オーケストラの日」公演や参加公演を開催した。

札幌交響楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、富士山静岡交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団

(2) 文化庁からの委託による「アジア オーケストラ ウィーク 2021」を制作

19回目となる昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止となった。2021年度はコンサートの開催は可能になったが、大きな目的の一つであるアジアからのオーケストラの招聘は難しいと判断される中、国内の4つのオーケストラにより開催された。演目は日本の作品と共に、アジアを意識した作品なども積極的に取り入れたものとした。またコンサートの模様は、配信により多くの人々にもアジア オーケストラ ウィークに触れることのできる機会を提供した。

<会場：東京オペラシティコンサートホール>

10月4日（月）大阪フィルハーモニー交響楽団

10月5日（火）読売日本交響楽団

10月6日（水）東京フィルハーモニー交響楽団

10月7日（木）セントラル愛知交響楽団

入場者数：10月4日 789人

10月5日 756人

10月6日 833人

10月7日 684人

総入場者数 3,062名

配信による視聴数 535回

(3) オーケストラ連盟 30周年記念事業の検討

創立 30 周年を迎える連盟の記念事業の当該年度は 2020 年度であったが、新型コロナウイルス感染の影響から実施を見送って以降、継続検討としている。

(4) 講習会、セミナーの開催

新型コロナウイルス感染症拡大のため、この年度は開催しなかった。

(5) インターンシップの推進

日本オーケストラ連盟が窓口となり、音楽大学、一般大学のアートマネジメントに関心のある学生を公募し、受け入れ可能な加盟オーケストラで研修を実施した。

本年度は

応募人数／7名の内 6名が参加。受け入れオーケストラ 6 楽団

実施期間／9月から 2月の間に 1名あたり、3日～1週間程度の研修を実施。

(6) その他の活動

コロナ禍において、政府は令和 3 年度開始後も前年度に引き続き、補正予算を計上し様々の事業を実施し、芸術団体、芸術の鑑賞機会を失った市民、子供たちを支援した。以下の 2 つはそれに該当する事業。

①令和 2 年度補正予算 文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」におけるマッチング作業

令和 2 年度文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」において、同事業事務局より依頼を受け、公演を希望する学校とオーケストラのマッチング作業を行い、約 100 公演の文化芸術体験機会の創出に寄与した。

※「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」

新型コロナウイルス感染症の影響下において、学校内外で子供たちが文化芸術の鑑賞や体験・修得をする機会が多く失われているため、学校等において実演芸術等をはじめとする多様な文化芸術の鑑賞・体験が享受できる機会を提供することを目的とする事業

②文化庁「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」の一環として文化庁の助成を受けて「オーケストラ・キャラバン 47」を実施

開催日：2021年7月24日（土）～2022年1月30日（日）

会場：全国37会場

内容：日本オーケストラ連盟は統括団体として文化庁より助成を受けて、加盟オーケストラのうち、参加を希望した21団体に対し47公演を委託、実施した。

※「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」

大規模で質の高い我が国の文化芸術水準を向上させるような公演等を支援し、文化芸術の質の向上と文化芸術の重要性や魅力を発信することにより、新型コロナウイルスの感染拡大による萎縮効果を乗り越え、文化芸術に対する需要喚起や業界全体の活性化を図る。また、地域の文化芸術関係団体・芸術家を中心として、文化芸術関係者の力を合わせ、舞台芸術・メディア芸術・伝統芸能・生活文化・国際文化交流等の公演や展示・展覧会等を実施する取組を支援することにより、コロナ禍における地域の文化芸術の振興を推進することを目的とした事業。

③アフィニス文化財団が開催する「アフィニス・セミナー&音楽会 2021（「アフィニス夏の音楽祭」より変更）に協力

3. 青少年に対する交響楽の普及

(1) 復興支援演奏会の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見送った。

(2) 東京都が主催する「子供たちと芸術家の出会う街」の制作に協力

日時・会場：2022年3月29日（火）東京芸術劇場

企画・演奏：日本フィルハーモニー交響楽団

事前アウトリーチ 参加人数：387名

当日ワークショップ 参加人数：160名

オーケストラ演奏会 参加人数：940名

当日無料イベント 参加人数：120名

合計：1,607名

4. 交響楽に関する国際交流

(1) 海外のオーケストラ連盟との交流と情報交換

英国オーケストラ連盟の年次総会（ハイブリット開催）Web 開催部分に沖汐明日香さん（セントラル愛知交響楽団）が参加した。コロナ後のオーケストラ活動についての情報、世界情勢を反映したオーケストラ運営上の転換など報告してもらい、変化しているオーケストラを取り巻く状況を伝えた。

5. その他目的を達成するために必要な事業

(1) オーケストラへの寄付金の配分

2021年度も企業1社より300百万円の寄付を頂戴した。それらの浄財は寄付された企業のご意向を踏まえ、そのほとんどを昨年度に引き続き日オーケストラ連盟の加盟団体に配分した。

(2) 「日本オーケストラ連盟ニュース」の発行

2020年度は新型コロナウイルス感染症への対策を行う中、休刊せざるを得なかったが、2021年度は復刊し3号を発行した。2年間にわたり、対応に苦慮してきた「新型コロナウイルス感染拡大」にともなう、オーケストラ界の状況を中心に、特集記事、音楽界のトピックスや各種情報などを伝えるほか、復活してきた加盟オーケストラの主催公演一覧も表示。

8月第105号、12月第106号、3月第107号

(3) 「日本のオーケストラ」作成

この年度は発刊しなかった。

(4) 他の芸術団体等との連携

芸術家会議、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）、文化芸術推進フォーラムの一員として他の芸術団体や「劇場・音楽堂等協議会」などとも連携を図り、健全な文化芸術活動やオーケストラ運営ができる環境整備と充実に努めた。

6. その他の事業

(1) 著作権代行事業

一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）との協定による、加盟オーケストラの使用する管理著作物の包括的申請と使用料の一括徴収と支払業務を実施した。

(2) 共同広告事業

本年度は実施しなかった。

(3) 互助会事業

病気や怪我で3ヶ月以上活動できない、連盟加盟の楽団に所属する楽員・職員への無利息による貸付制度。本制度の利用を促した。

会議の開催

○理事会 2021年度 計2回

第1回 5月20日(木) Webによるリモート会議で実施

第2回 3月25日(金) Webによるリモート会議で実施

○総会 2021年度 計1回

定時総会 6月15日(火) Webによるリモート会議で実施

○運営委員会 第239回 ~ 第247回 計9回

4月23日(金)、7月29日(木)、8月19日(木)、9月24日(金)、10月25日(月)、
11月29日(月)、12月24日(金)、1月27日(木)、2月18日(金)

運営委員(11名):

佐藤 隆文	理事長
金山 茂人	副理事長
西濱 秀樹	専務理事、山形交響楽団 専務理事
桑原 浩	専務理事・事務局長
大野 順二	東京交響楽団 専務理事
唐木田信也	NHK交響楽団 特別主幹
後藤 朋俊	日本フィルハーモニー交響楽団 常務理事
柴田 耕志	九州交響楽団 専務理事
鈴木 基弘	仙台フィルハーモニー管弦楽団 常務理事
横守 稔久	兵庫芸術文化センター管弦楽団 プロデューサー
手塚 裕之	関西フィルハーモニー管弦楽団 常務理事・楽団長(2021.4~2021.12)
大野 英人	関西フィルハーモニー管弦楽団 楽団長(2022.1~2022.3)

○地方オーケストラ連絡会/首都圏オーケストラ連絡会「合同会議」

毎年、8月のアフィニス夏の音楽祭に合わせ開催されてきたが、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

○首都圏オーケストラ連絡会 第439回 ～ 第448回 計10回
4月22日(木)、5月25日(火)、7月21日(水)、8月20日(金)、9月22日(水)、
10月27日(水)、11月25日(木)、12月21日(火)、1月24日(月)、2月21日(月)

○地方オーケストラ連絡会 計1回
9月21日(火) Webによるリモート会議で実施

○首都圏「オーケストラの日」実行委員会
3月31日に東京文化会館大ホールで行われる「オーケストラの日2022」演奏会の実開催中止に伴い、実行委員会も実施せず。

○「子どものためのオーケストラ検証」プロジェクト委員会の開催 計1回
12月28日(火)

外部の委員会・協議会等への協力

- 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(以下、「芸団協」)の監事として金山茂人/副理事長、理事として桑原浩/専務理事・事務局長が参加した。
- 公益社団法人日本演奏連盟常任理事として吉井実行/参与が参加した。
- 公益財団法人音楽文化創造評議員として桑原浩/専務理事・事務局長が参加した。
- 芸術家会議の常任幹事として桑原 浩/専務理事・事務局長が参加した。
- 芸団協「実演芸術振興委員会」委員として桑原浩/専務理事・事務局長が参加した。
- 公益財団法人公益法人協会評議員として吉井実行/参与が参加した。
- 「文化芸術推進フォーラム」運営委員として桑原浩/専務理事・事務局長が参加した。
- 公益財団法人アフィニス文化財団の理事として桑原浩/専務理事・事務局長が参加した。
- 演奏家権利処理合同機構(MPN)の「クラシック委員会」委員として工藤真実/東京フィルハーモニー交響楽団常務理事・事務局長、桑原浩/専務理事・事務局長が参加した。
- アジア・太平洋地域オーケストラ連盟の事務局長を名倉真紀/マネージャーが務めた。

関係団体との連携、協力

芸団協、芸術家会議、文化芸術推進フォーラム、日本音楽芸術マネジメント学会、公益財団法人公益法人協会の会員、構成団体として参加している。

庶務の概要

1. 会員に関する事項

正会員	準会員	賛助会員	名誉会員
25	13	法人 10 個人 0	0

2. 会長及び役員に関する事項

役名	氏名	現職
会長	児玉 幸治	一般財団法人 機械システム振興協会 顧問
理事長	佐藤 隆文	元・金融庁 長官
副理事長	金山 茂人	公益社団法人 日本演奏連盟 専務理事
専務理事	西濱 秀樹	山形交響楽団 専務理事
	桑原 浩	日本オーケストラ連盟 事務局長
理事	西村 朗	作曲家
	藤井真理子	東京大学名誉教授
	松尾 康二	NPO 法人 音楽は平和を運ぶ 理事長
	宮脇 匠	公益財団法人 アフィニス文化財団 事務局長
	大野 順二	東京交響楽団 専務理事
	唐木田信也	NHK交響楽団 特別主幹
	後藤 朋俊	日本フィルハーモニー交響楽団 常務理事
	柴田 耕志	九州交響楽団 専務理事
	鈴木 基弘	仙台フィルハーモニー管弦楽団 常務理事
	竹林 潤治	兵庫芸術文化センター管弦楽団 楽団部長
	濱橋 元	関西フィルハーモニー管弦楽団 専務理事
監事	千葉 和彦	公認会計士
	箱田 英子	弁護士
顧問	岡山 尚幹	元・常務理事
	田邊 稔	元・副理事長
参与	加納 民夫	元・理事・事務局長
	吉井 實行	前・専務理事

2022年3月31日現在

2021 年度 事業報告の附属明細書

2021 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

決 算 報 告 書

貸 借 対 照 表
正 味 財 産 増 減 計 算 書
正味財産増減計算書内訳表
計算書類に対する注記
附 属 明 細 書
財 産 目 録
収 支 計 算 書
収支計算書に対する注記

自：2021年4月1日
至：2022年3月31日

公益社団法人 日本オーケストラ連盟

貸借対照表

2022年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	351,210,161	33,483,820	317,726,341
未収金	7,005,390	3,258,445	3,746,945
前払費用	123,831	143,773	△19,942
流動資産合計	358,339,382	36,886,038	321,453,344
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	—
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	—
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	11,556,655	9,657,984	1,898,671
記念事業積立資産	10,501,229	10,501,229	—
青少年育成基金引当資産	9,106,392	9,106,392	—
復興支援事業引当資産	2,698,660	2,321,267	377,393
互助会基金積立資産	25,791,121	25,791,121	—
特定資産合計	59,654,057	57,377,993	2,276,064
(3) その他固定資産			
電話加入権	143,808	143,808	—
その他固定資産合計	143,808	143,808	—
固定資産合計	79,797,865	77,521,801	2,276,064
資産合計	438,137,247	114,407,839	323,729,408
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	22,376,084	7,411,663	14,964,421
前受金	—	30,000	△30,000
未払法人税等	70,000	70,000	—
未払消費税等	1,796,900	1,690,700	106,200
預り金	489,526	235,058	254,468
流動負債合計	24,732,510	9,437,421	15,295,089
2. 固定負債			
退職給付引当金	11,556,655	9,657,984	1,898,671
固定負債合計	11,556,655	9,657,984	1,898,671
負債合計	36,289,165	19,095,405	17,193,760
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
青少年育成基金	9,106,392	9,106,392	—
寄付金	300,000,000	—	300,000,000
指定正味財産合計	309,106,392	9,106,392	300,000,000
(うち特定資産への充当額)	(9,106,392)	(9,106,392)	—
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	92,741,690	86,206,042	6,535,648
(うち特定資産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	—
(うち特定資産への充当額)	(38,991,010)	(38,613,617)	(377,393)
正味財産合計	401,848,082	95,312,434	306,535,648
負債及び正味財産合計	438,137,247	114,407,839	323,729,408

正味財産増減計算書

自：2021年 4月 1日

至：2022年 3月 31日

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	400	2,005	△1,605
基本財産受取利息	400	2,005	△1,605
②特定資産運用益	868	2,688	△1,820
特定資産受取利息	868	2,688	△1,820
③受取入金	—	200,000	△200,000
受取入金	—	200,000	△200,000
④受取会費	20,000,000	11,200,000	8,800,000
正会員受取会費	15,000,000	7,500,000	7,500,000
準会員受取会費	2,600,000	1,300,000	1,300,000
賛助会員受取会費	2,400,000	2,400,000	—
⑤事業収益	109,657,596	46,025,759	63,631,837
調査研究事業収益	6,400,000	5,300,000	1,100,000
主催事業収益	475,000	475,000	—
委託事業収益	56,806,242	24,566,546	32,239,696
青少年育成事業収益	930,000	930,000	—
著作権代行事業収益	33,931,354	14,854,213	19,077,141
連盟ニュース制作事業収益	8,640,000	△100,000	8,740,000
協賛金収入	2,475,000	—	2,475,000
⑥受取補助金等	562,679,224	1,820,300	560,858,924
受取国庫補助金	560,779,224	—	560,779,224
受取民間補助金	—	1,620,300	△1,620,300
受取民間助成金	1,900,000	200,000	1,700,000
⑦受取寄付金	377,393	462,648,770	△462,271,377
受取寄付金	377,393	462,648,770	△462,271,377
⑧雑収益	305,708	2,164,942	△1,859,234
受取利息	708	942	△234
雑収益	305,000	2,164,000	△1,859,000
経常収益合計	693,021,189	524,064,464	168,956,725
(2) 経常費用			
①事業費	674,130,324	518,125,874	156,004,450
給料手当	11,551,995	10,578,754	973,241
退職給付費用	1,575,897	585,621	990,276
法定福利費	1,912,583	1,702,079	210,504
厚生費	137,529	104,736	32,793
支払出演料	26,159,860	5,676,822	20,483,038
音楽費	676,981	453,750	223,231
文芸費	1,114,875	—	1,114,875
会場費	6,423,110	4,675,271	1,747,839
諸謝金	4,130,566	3,694,755	435,811
旅費	8,230,319	2,486,318	5,744,001
通信運搬費	4,127,448	2,455,094	1,672,354
広告宣伝費	13,036,623	3,890,585	9,146,038
印刷費	5,336,851	3,948,327	1,388,524
記録費	1,486,980	50,000	1,436,980
手数料	721,393	582,591	138,802
交際費	1,770	50,000	△48,230
会議費	109,057	34,579	74,478
消耗品費	362,282	401,809	△39,527
消耗什器品費	239,662	133,024	106,638
雑役務費	2,358,400	—	2,358,400
水道光熱費	568,870	554,854	14,016
委託費	547,987,195	—	547,987,195
調査研究費	—	500,000	△500,000
寄付金	—	455,281,000	△455,281,000
施設使用料	—	1,620,300	△1,620,300
賃借料	1,608,039	1,687,490	△79,451
租税公課	3,733,620	3,584,693	148,927
著作権代行使用料	30,538,419	13,393,422	17,144,997

②管理費	< 12,355,217 >	< 11,600,080 >	< 755,137 >
給料手当	2,553,005	2,337,918	215,087
退職給付費用	322,774	119,947	202,827
法定福利費	422,683	376,162	46,521
厚生費	28,168	21,452	6,716
諸謝金	5,512,024	5,240,019	272,005
旅費	1,089,493	1,015,979	73,514
通信運搬費	72,889	105,435	△32,546
交際費	82,544	73,150	9,394
会議費	33,468	193,317	△159,849
消耗品費	74,008	82,298	△8,290
消耗什器品費	49,088	27,246	21,842
水道光熱費	116,516	113,645	2,871
諸会費	377,500	359,500	18,000
賃借料	329,357	345,630	△16,273
租税公課	750,380	719,877	30,503
支払利息	252,161	—	252,161
為替差損	956	—	956
雑費	288,203	468,505	△180,302
経常費用合計	686,485,541	529,725,954	156,759,587
当期経常増減額	6,535,648	△5,661,490	12,197,138
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	—	—	—
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	—	1	△1
経常外費用合計	—	1	△1
当期経常外増減額	—	△1	1
当期一般正味財産増減額	6,535,648	△5,661,491	12,197,139
一般正味財産期首残高	86,206,042	91,867,533	△5,661,491
一般正味財産期末残高	92,741,690	86,206,042	6,535,648
II 指定正味財産増減の部			
受取助成金等	< 560,779,224 >	< — >	< 560,779,224 >
受取国庫補助金	560,779,224	—	560,779,224
受取寄付金	< 300,000,000 >	< 400,000,000 >	< △100,000,000 >
受取寄付金	300,000,000	400,000,000	△100,000,000
一般正味財産への振替額	< △560,779,224 >	< △400,000,000 >	< △160,779,224 >
当期指定正味財産増減額	300,000,000	—	300,000,000
指定正味財産期首残高	9,106,392	9,106,392	—
指定正味財産期末残高	309,106,392	9,106,392	300,000,000
III 正味財産期末残高	401,848,082	95,312,434	306,535,648

正味財産増減計算書内訳表

自：2021年 4月 1日

至：2022年 3月 31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	公1 (注1)	他1 (注2)			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	< 400 >	< - >	< - >	< - >	< 400 >
基本財産受取利息	400	-	-	-	400
②特定資産運用益	< 868 >	< - >	< - >	< - >	< 868 >
特定資産受取利息	868	-	-	-	868
④受取会費 (注3)	< 2,400,000 >	< - >	< 17,600,000 >	< - >	< 20,000,000 >
正会員受取会費	-	-	15,000,000	-	15,000,000
準会員受取会費	-	-	2,600,000	-	2,600,000
賛助会員受取会費	2,400,000	-	-	-	2,400,000
⑤事業収益	< 75,726,242 >	< 33,931,354 >	< - >	< - >	< 109,657,596 >
調査研究事業収益	6,400,000	-	-	-	6,400,000
主催事業収益	475,000	-	-	-	475,000
委託事業収益	56,806,242	-	-	-	56,806,242
青少年育成事業収益	930,000	-	-	-	930,000
著作権代行事業収益	-	33,931,354	-	-	33,931,354
連盟ニュース制作事業収益	8,640,000	-	-	-	8,640,000
協賛金収入	2,475,000	-	-	-	2,475,000
⑥受取助成金	< 562,679,224 >	< - >	< - >	< - >	< 562,679,224 >
受取国庫補助金	560,779,224	-	-	-	560,779,224
受取民間助成金	1,900,000	-	-	-	1,900,000
⑦受取寄付金	< 377,393 >	< - >	< - >	< - >	< 377,393 >
受取寄付金	377,393	-	-	-	377,393
⑧雑収益	< 305,708 >	< - >	< - >	< - >	< 305,708 >
受取利息	708	-	-	-	708
雑収益	305,000	-	-	-	305,000
経常収益合計	641,489,835	33,931,354	17,600,000	-	693,021,189
(2) 経常費用					
①事業費	< 641,805,168 >	< 32,325,156 >	< - >	< - >	< 674,130,324 >
給料手当	10,606,960	945,035	-	-	11,551,995
退職給付費用	1,461,977	113,920	-	-	1,575,897
法定福利費	1,756,120	156,463	-	-	1,912,583
厚生費	127,587	9,942	-	-	137,529
支払出演料	26,159,860	-	-	-	26,159,860
音楽費	676,981	-	-	-	676,981
文芸費	1,114,875	-	-	-	1,114,875
会場費	6,423,110	-	-	-	6,423,110
諸謝金	4,130,566	-	-	-	4,130,566
旅費	8,230,319	-	-	-	8,230,319
通信運搬費	4,101,723	25,725	-	-	4,127,448
広告宣伝費	13,036,623	-	-	-	13,036,623
印刷費	5,336,851	-	-	-	5,336,851
記録費	1,486,980	-	-	-	1,486,980
手数料	721,393	-	-	-	721,393
交際費	1,770	-	-	-	1,770
会議費	109,057	-	-	-	109,057
消耗品費	336,162	26,120	-	-	362,282
消耗什器品費	222,337	17,325	-	-	239,662
雑役務費	2,358,400	-	-	-	2,358,400
水道光熱費	527,747	41,123	-	-	568,870
委託費	547,987,195	-	-	-	547,987,195
賃借料	1,491,795	116,244	-	-	1,608,039
租税公課	3,398,780	334,840	-	-	3,733,620
著作権代行使用料	-	30,538,419	-	-	30,538,419

②管理費	< - >	< - >	< 12,355,217 >	< - >	< 12,355,217 >
給料手当	-	-	2,553,005	-	2,553,005
退職給付費用	-	-	322,774	-	322,774
法定福利費	-	-	422,683	-	422,683
厚生費	-	-	28,168	-	28,168
諸謝金	-	-	5,512,024	-	5,512,024
旅費	-	-	1,089,493	-	1,089,493
通信運搬費	-	-	72,889	-	72,889
交際費	-	-	82,544	-	82,544
会議費	-	-	33,468	-	33,468
消耗品費	-	-	74,008	-	74,008
消耗什器品費	-	-	49,088	-	49,088
水道光熱費	-	-	116,516	-	116,516
諸会費	-	-	377,500	-	377,500
賃借料	-	-	329,357	-	329,357
租税公課	-	-	750,380	-	750,380
支払利息	-	-	252,161	-	252,161
為替差損	-	-	956	-	956
雑費	-	-	288,203	-	288,203
経常費用合計	641,805,168	32,325,156	12,355,217	-	686,485,541
当期経常増減額	△315,333	1,606,198	5,244,783	-	6,535,648
他会計振替前					
当期一般正味財産増減額	△315,333	1,606,198	5,244,783	-	6,535,648
他会計振替額	803,099	△803,099	-	-	-
当期一般正味財産増減額	487,766	803,099	5,244,783	-	6,535,648
一般正味財産期首残高	79,141,167	7,020,070	44,805	-	86,206,042
一般正味財産期末残高	79,628,933	7,823,169	5,289,588	-	92,741,690
II 指定正味財産増減の部					
受取助成金等	< 560,779,224 >	< - >	< - >	< - >	< 560,779,224 >
受取国庫補助金	560,779,224	-	-	-	560,779,224
受取寄付金	< 300,000,000 >	< - >	< - >	< - >	< 300,000,000 >
受取寄付金	300,000,000	-	-	-	300,000,000
一般正味財産への振替額	< △560,779,224 >	< - >	< - >	< - >	< △560,779,224 >
当期指定正味財産増減額	300,000,000	-	-	-	300,000,000
指定正味財産期首残高	9,106,392	-	-	-	9,106,392
指定正味財産期末残高	309,106,392	-	-	-	309,106,392
III 正味財産期末残高	388,735,325	7,823,169	5,289,588	-	401,848,082

(注1) 交響楽の振興と普及に関わる公益目的事業

(注2) 加盟会員向けのその他の事業

(注3) 連盟規程変更に伴い賛助会員受取会費以外を法人会計に計上

計算書類に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金： 職員の退職給付に備えるため、内規に基づき当年度末において発生していると認められる額を計上している。

(2) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	—	—	20,000,000
小計	20,000,000	—	—	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	9,657,984	1,898,671	—	11,556,655
記念事業積立資産	10,501,229	—	—	10,501,229
青少年育成基金引当資産	9,106,392	—	—	9,106,392
復興支援事業引当資産	2,321,267	377,393	—	2,698,660
互助会基金積立資産	25,791,121	—	—	25,791,121
小計	57,377,993	2,276,064	—	59,654,057
合計	77,377,993	2,276,064	—	79,654,057

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	—	(20,000,000)	—
小計	20,000,000	—	(20,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	11,556,655	—	—	(11,556,655)
記念事業積立資産	10,501,229	—	(10,501,229)	—
青少年育成基金引当資産	9,106,392	(9,106,392)	—	—
復興支援事業引当資産	2,698,660	—	(2,698,660)	—
互助会基金積立資産	25,791,121	—	(25,791,121)	—
小計	59,654,057	(9,106,392)	(38,991,010)	(11,556,655)
合計	79,654,057	(9,106,392)	(58,991,010)	(11,556,655)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 保証債務等の偶発債務

該当なし

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 文化芸術振興費補助金 (アートキャラバン事業)	文化庁	—	571,078,000	560,779,224	10,298,776	未払金
助成金 オーケストラの日2022	(公財)ロム ミュージック ファンデーション	—	300,000	300,000	—	—
	(公財)三菱UFJ信託芸 術文化財団	—	500,000	500,000	—	—
	(公財)花王芸術・科 学財団	—	200,000	200,000	—	—
	(公財) 朝日新聞文化財団	—	200,000	200,000	—	—
	(公財) 日本音楽財団	—	700,000	700,000	—	—
合 計		—	572,978,000	562,679,224	10,298,776	—

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額 受取補助金等の使用による振替額	560,779,224
合 計	560,779,224

9. 関連当事者との取引の内容

国又は独立行政法人等から支出を受けているものの詳細は、次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の名称	取引の内容	取引金額
補助金	文化庁	文化芸術振興費補助金 (アートキャラバン事業)	571,078,000
委託業務	文化庁	アジア オーケストラ ウィーク 2021	56,806,242
合 計			627,884,242

10. 重要な後発事象

全国37オーケストラへの支援を目的として受領した指定寄付金は、2022年4月において合理的な基準に基づき各オーケストラに分配している。

11. その他

該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

計算書類に対する注記3. で記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	9,657,984	1,898,671	—	—	11,556,655

財産目録

2022年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	手元保管 普通預金 みずほ銀行 錦糸町支店 三菱UFJ銀行 錦糸町駅前支店 ゆうちょ銀行 〇一九店 みずほ銀行 錦糸町支店 定期預金 みずほ銀行 錦糸町支店	運転資金として 運転資金として " " " "	(351,210,161) 104,086 21,857,462 320,994,690 771,702 7,475,460 6,761
未収金	JASRAC音楽著作物使用料 オケ連ニュース広告料 「オーケストラの日2022」 「子どもたちと芸術家」 年会費 その他	他1・著作権代行事業に係るもの 公1・広報広告事業に係るもの 公1・主催事業に係るもの 公1・青少年育成事業に係るもの 公1・運転資金として 公1・受託事業に係るもの	(7,005,390) 2,858,258 2,140,000 1,175,000 330,000 200,000 302,132
前払費用	労働保険	労働保険料の前払費用	(123,831) 123,831
流動資産合計			358,339,382
(固定資産)			
基本財産	定期預金 みずほ銀行 錦糸町支店	公益目的保有財産、運用益を公益目的事業の財源として使用	(20,000,000) 20,000,000
特定資産	退職給付引当資産 みずほ銀行 錦糸町支店 記念事業積立資産 みずほ銀行 錦糸町支店 青少年育成基金引当資産 みずほ銀行 錦糸町支店 復興支援事業引当資産 三菱UFJ銀行 錦糸町駅前支店 互助会基金積立資産 みずほ銀行 錦糸町支店	職員2名に対する退職金支払いに備えたもの 公益目的保有財産、同事業の財源として積立 公益目的保有財産、同事業の財源として積立 公益目的保有財産、同事業の財源として積立	(59,654,057) 11,556,655 10,501,229 9,106,392 2,698,660 25,791,121
その他 固定資産	電話加入権 固定電話 03-5610-7275、7276	公益目的事業保有財産他(供用資産)	(143,808) 143,808
固定資産合計			79,797,865
資産合計			438,137,247

(流動負債)	未払金	補助金・収入等返金予定額 アートキャラバン事業 著作権代行事業 制作費 音楽著作物使用料等 オーケストラの日2022 連盟ニュース 子どものためのオーケストラ鑑賞調査 オーケストラ年鑑 地代家賃等 墨田区役所 その他 諸謝金 会計業務委託費 消耗品費等 その他	公1・公益目的事業に係る受領代金の返金 他1・著作権代行事業に係る受領代金の返金 他1・著作権代行事業に供する経費未払分 公1・公益目的事業に供する経費未払分 公1・公益目的事業に供する経費未払分 公1・公益目的事業に供する経費未払分 公1・公益目的事業に供する経費未払分 公益目的事業に供する経費未払分 公益目的事業に供する経費未払分 公益目的事業に供する経費未払分 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団	(22,376,084) 10,580,355 440 6,206,589 3,614,780 593,457 500,000 20,000 542,519 220,000 92,400 5,544
	未払法人税等	台東区税務所	他1・収益目的事業等に係る未払法人税等	(70,000) 70,000
	未払消費税等	本所税務署	未払消費税等	(1,796,900) 1,796,900
	預り金	本所税務署 社会保険料 住民税	源泉所得税	(489,526) 419,504 38,922 31,100
流動負債合計				24,732,510
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員2名に対する退職金支払いに備えたもの	(11,556,655) 11,556,655
固定負債合計				11,556,655
負債合計				36,289,165
正味財産				401,848,082

注 事業の定義は下記のとおりである。
公1 (公益目的事業) : 交響楽の振興と普及に関わる事業
他1 (収益事業等) : 加盟会員向け事業

2022年5月19日

監査報告書

公益社団法人 日本オーケストラ連盟
理事長 佐藤隆文 殿

公益社団法人 日本オーケストラ連盟

監事 千葉和彦

千葉和彦



公益社団法人 日本オーケストラ連盟

監事 箱田英子

箱田英子



私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示していると認めます。

以上

2021年度収支計算書

収支計算書に対する注記

収 支 計 算 書

自：2021年 4月 1日

至：2022年 3月 31日

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	< 2,000 >	< 400 >	< 1,600 >	
基本財産利息収入	2,000	400	1,600	
② 特定資産運用収入	< - >	< 868 >	< △868 >	
特定資産利息収入	-	868	△868	
④ 会費収入	< 20,000,000 >	< 20,000,000 >	< - >	
正会員会費収入	15,000,000	15,000,000	-	
準会員会費収入	2,600,000	2,600,000	-	
賛助会員会費収入	2,400,000	2,400,000	-	
⑤ 事業収入	< 123,880,000 >	< 109,657,596 >	< 14,222,404 >	
調査研究事業収入	5,500,000	6,400,000	△900,000	
主催事業収入	5,380,000	475,000	4,905,000	(注1)
委託事業収入	73,600,000	56,806,242	16,793,758	(注1)
青少年育成事業収入	600,000	930,000	△330,000	
著作権代行事業収入	30,000,000	33,931,354	△3,931,354	(注1)
連盟ニュース制作事業収入	8,800,000	8,640,000	160,000	
協賛金収入	-	2,475,000	△2,475,000	(注2)
⑥ 助成金収入	< - >	< 562,679,224 >	< △562,679,224 >	(注3)
国庫補助金収入	-	560,779,224	△560,779,224	
民間助成金収入	-	1,900,000	△1,900,000	
⑦ 寄付金収入	< - >	< 300,377,393 >	< △300,377,393 >	(注1)
寄付金収入	-	300,377,393	△300,377,393	
⑧ 雑収入	< 201,000 >	< 305,708 >	< △104,708 >	
受取利息収入	1,000	708	292	
雑収入	200,000	305,000	△105,000	
事業活動収入計	144,083,000	993,021,189	△848,938,189	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	< 111,605,000 >	< 652,154,930 >	< △540,549,930 >	
調査研究事業支出	5,800,000	6,121,592	△321,592	
主催事業支出	5,690,000	560,355,457	△554,665,457	(注3)
委託事業支出	67,240,000	52,045,358	15,194,642	(注1)
講習会等事業支出	900,000	-	900,000	
青少年育成事業支出	600,000	-	600,000	
国際交流事業支出	700,000	188,892	511,108	
著作権代行事業支出	27,000,000	30,608,419	△3,608,419	(注1)
連盟ニュース制作事業支出	2,685,000	2,835,212	△150,212	
その他の事業支出	990,000	-	990,000	

② 管理費支出	< 33,273,864 >	< 32,431,940 >	< 841,924 >	
給料手当支出	16,200,000	14,105,000	2,095,000	
法定福利費支出	2,604,864	2,335,266	269,598	
厚生費支出	150,000	165,697	△15,697	
諸謝金支出	3,000,000	5,512,024	△2,512,024	
旅費支出	3,000,000	1,089,493	1,910,507	
通信運搬費支出	400,000	428,756	△28,756	
交際費支出	300,000	82,544	217,456	
会議費支出	500,000	33,468	466,532	
消耗品費支出	600,000	435,340	164,660	
消耗什器品費支出	250,000	288,750	△38,750	
水道光熱費支出	500,000	685,386	△185,386	
諸会費支出	200,000	377,500	△177,500	
賃借料支出	2,100,000	1,937,396	162,604	
租税公課支出	2,500,000	4,414,000	△1,914,000	
支払利息支出	369,000	252,161	116,839	
為替差損支出	—	956	△956	
雑支出	600,000	288,203	311,797	
事業活動支出計	144,878,864	684,586,870	△539,708,006	
事業活動収支差額	△795,864	308,434,319	△309,230,183	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	—	—	—	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	< 1,238,000 >	< 2,276,064 >	< △1,038,064 >	
退職給付引当預金取得支出	1,238,000	1,898,671	△660,671	
復興支援事業引当預金取得支出	—	377,393	△377,393	
投資活動支出計	1,238,000	2,276,064	△1,038,064	
投資活動収支差額	△1,238,000	△2,276,064	1,038,064	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
① 借入金収入	< 50,000,000 >	< 40,000,000 >	< 10,000,000 >	
短期借入金収入	50,000,000	40,000,000	10,000,000	
財務活動収入計	50,000,000	40,000,000	10,000,000	
2. 財務活動支出				
① 借入金返済支出	< 50,000,000 >	< 40,000,000 >	< 10,000,000 >	
短期借入金返済支出	50,000,000	40,000,000	10,000,000	
財務活動支出計	50,000,000	40,000,000	10,000,000	
財務活動収支差額	—	—	—	
当期収支差額	△2,033,864	306,158,255	△308,192,119	
前期繰越収支差額	17,334,725	27,448,617	△10,113,892	
次期繰越収支差額	15,300,861	333,606,872	△318,306,011	

(注1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響による予算との乖離

(注2) アジアオーケストラウィーク2021への寄付金

(注3) アートキャラバン事業の受託

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、次の科目を含めている。

現金預金、未収金、前払費用

未払金、前受金、未払法人税等、未払消費税等、預り金

なお、前期末及び当期末残高は、下記2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	33,483,820	351,210,161
未収金	3,258,445	7,005,390
前払費用	143,773	123,831
合 計	36,886,038	358,339,382
未払金	7,411,663	22,376,084
前受金	30,000	—
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	1,690,700	1,796,900
預り金	235,058	489,526
合 計	9,437,421	24,732,510
次期繰越収支差額	27,448,617	333,606,872